

2023年5月10日

各位

会社名 株式会社九州リースサービス
 代表者名 代表取締役社長 礪山 誠二
 (コード番号：8596 東証スタンダード市場、福証)
 問合せ先 常務執行役員総合企画部長 小嶋 良一
 (TEL 092-431-2915)

剰余金の配当（増配）及び株主優待制度の廃止に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、2023年3月31日を基準日とする剰余金の配当（増配）及び株主優待制度の廃止について、下記のとおり決議いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 配当の内容

	決 定 額	直近の配当予想 (2023年2月9日公表)	前期実績 (2022年3月期)
基 準 日	2023年3月31日	同 左	2022年3月31日
1株当たり配当金	14円50銭	12円50銭	10円50銭
配当金総額	344百万円	—	249百万円
効力発生日	2023年6月8日	—	2022年6月10日
配 当 原 資	利益剰余金	—	利益剰余金

2. 理由

当社では、配当につきましては、各事業年度の業績、財務状況、今後の事業展開などを総合的に判断し実施すべきものと考えており、内部留保の充実による財務体質の強化を図りつつ、安定的に配当を実施することを基本方針としております。

2023年3月期の業績は、リース売上高の増加や連結子会社における大口の不動産販売収入の計上など、各セグメントとも概ね好調に推移した結果、売上高は36,807百万円（前年同期比24.5%増）、営業利益は5,477百万円（同68.5%増）、経常利益は5,422百万円（同64.4%増）と2022年10月21日に公表した業績予想を上回り、また、9月26日に株式会社シノケングループ（以下「シノケングループ」）の普通株式等の公開買付けが成立し、当社が保有するシノケングループの普通株式1,966,000株の全てを売却したことに伴う投資有価証券売却益を特別利益に計上したことなどにより、親会社株主に帰属する当期純利益は5,862百万円（同175.5%増）となりました。売上高は11期連続の増収を確保するとともに、営業利益・経常利益は2期ぶりの増益、親会社株主に帰属する当期純利益は2期連続の増益となりました。

基本方針に基づく総合的な検討に加え、株主の皆さまの日頃のご支援に應えるため、2023年3月期の期末配当金につきましては、直近の配当予想から更に2円増配し、1株当たり14円50銭とすることといたしました。これにより、当期の年間配当金は1株当たり25円50銭となります。

なお、当社は、会社法第459条第1項の規定に基づき、株主総会の決議によらず取締役会の決議をもって剰余金の配当等を行うことができる旨を定款に定めております。

(ご参考) 年間配当の内訳

基 準 日	1株当たり配当金		
	第2四半期末	期 末	合 計
当 期 実 績 (2023年3月期)	11円00銭	14円50銭	25円50銭
前 期 実 績 (2022年3月期)	8円00銭	10円50銭	18円50銭

3. 株主優待制度の廃止

(1) 株主優待制度廃止の理由

当社は、株主優待として、毎年3月末現在で当社株式1単元（100株）以上を保有されている株主さまを対象に、1,000円のQUOカードを1枚贈呈してまいりました。

また、株主優待に加え、安定的かつ継続的な配当と普通配当の増配・特別配当・記念配当の機動的な実施など、株主の皆さまへの還元を実施してまいりました。

しかしながら、株主の皆さまへのより公平な利益還元という観点から慎重に検討を重ねました結果、株主の皆さまへの利益還元は配当による直接的かつ継続的な還元を充実することが適切であるとの判断に至り、株主優待制度は廃止させていただくことといたしました。

中期経営計画「共創2024～Challenge for the Future～」の最終年度である2024年3月期におきましても、当該計画の基本方針である「事業基盤の拡充」と「企業態勢の高度化」に積極的に取り組み、全社員一丸となって企業価値の向上に努めてまいりますので、何卒ご理解賜りますようお願い申し上げます。

(2) 株主優待制度の廃止時期

2023年3月31日現在の当社株主名簿に記載のある1単元（100株）以上保有する株主さまへの2023年6月のQUOカードのお届けをもちまして株主優待を廃止させていただきます。

以上